

労働基準監督官も富山も 魅力に溢れています！

労働基準監督官とは・・・

事業主に対し法に定める基準を遵守させることにより、働く人の労働条件の確保・向上、安全や健康の確保を図る厚生労働省の専門職員となります。

採用試験の試験区分は、**労働基準監督A（文系）**と**労働基準監督B（理工系）**の2つがあります。

富山労働局の採用状況

	労働基準 監督官A	労働基準 監督官B
R8	3(2)	0
R7	3(1)	0
R6	2(0)	1
R5	2(1)	0
R4	3(1)	0

括弧内女性の人数

直近5年間の採用状況のポイント

◎約7割が富山県出身者

→県外の方も是非富山へ！

富山の魅力は裏面をご確認ください！

◎理系の採用が低調

→**求む、理系！**

◎約4割が女性

やりがいがあり、
働きやすいですよ

労働基準監督官の魅力3箇条

一 有給休暇が取りやすく、ワークライフバランスが充実

→**ライフや旅行等でリフレッシュ！**

二 夢を持った労働者のために**長時間労働**や**賃金未払等**を事業場に指導ができます

→**監督官は「夢の守護者」！**

三 労働者を苦しめる劣悪な事業場に対し**捜査**ができ、やりがいがある

→**これぞ、監督官の「伝家の宝刀」！**



若手監督官の声
県外出身者の声
私は富山を
推しています

2年目女性（K.Sさん）

結婚を機に富山県が生活拠点となったので富山局を志望しました。**転居不要**で県内異動できるところも魅力の一つですが、特に**立山**の景色は毎日見ても飽きません。通勤中に立山が目に入ると気分が上がって頑張ろうと思えます！

2年目男性（S.Mさん）

富山県は、**ご飯もおいしく、自然が豊か**で景色も良く、日頃の疲れを癒すには最高です。監督で丸一日外出した際の昼休みにおいしい食事を楽しめるため、この仕事と富山県の強みはとてもマッチしていると思います！

9年目男性（T.Tさん）

私は県外出身ですが、山登りやスノーボードといった好きなことを続けながら働ける環境があるから富山にしました。監督官の仕事は**スケジュールを自分で管理**しやすく、雪の日に有給を取って趣味を楽しむことができます！

11年目女性（Y.Nさん）

2児（6歳・3歳）の母で、出産を機に富山局へ異動。小規模ゆえ監督官同士が顔見知りであり、**子育てにも理解があり、働きやすい**環境だと思います。大規模局の経験もありますが、富山局は個人を大切にすると温かさを感じています！

理系の声
私は監督官を
推しています

6年目男性（K.Mさん）

理系出身者でも活躍できるところと**特別司法警察職員**という響きに憧れて監督官を目指しました。

工学部で学ぶ安全工学やリスク評価、原因究明の考え方は、労働災害防止のための**技術的指導**に活かすことができると思います！

13年目男性（T.Nさん）

困っている労働者を手助けできることに魅力を感じて監督官を志望。

監督時に教科書で見た工法を実際に目にとると感動します。理系の強みは、この**目の輝きと知識に裏打ちされた雰囲気**を事業場に示せる点だと思います！

3年目男性（Y.Mさん）

怪我なく、健康に働ける職場づくりに貢献できることに魅力を感じ、監督官を選びました。

法令という根拠に基づき判断すること、法令ができた背景を理解すること等の**ロジカルシンキング**は理系の強みだと感じています！

富山労働局労働基準部監督課長より

富山は日本海側有数の工業県で、様々なものづくりの現場を経験することができるなど、**監督官として能力向上**を図るには非常によいところと感じています。

また、3人の子育てをした経験からいうと、**公園**や**海山**など遊び場が多い上、「**教育県**」といわれるとおり教育も充実しており、子育てに適した環境が整っています。

県外出身者も富山を選んで後悔は**ナシ!**
富山労働局はあなたを待っています**マス!**

